京極町川西地区　土地の風水調査報告

調査日：2022 年 10 月 24 日

調査場所：虻田郡京極町字川西　（右地図の表示エリア）

調査物件の風水的所見

1. 山龍

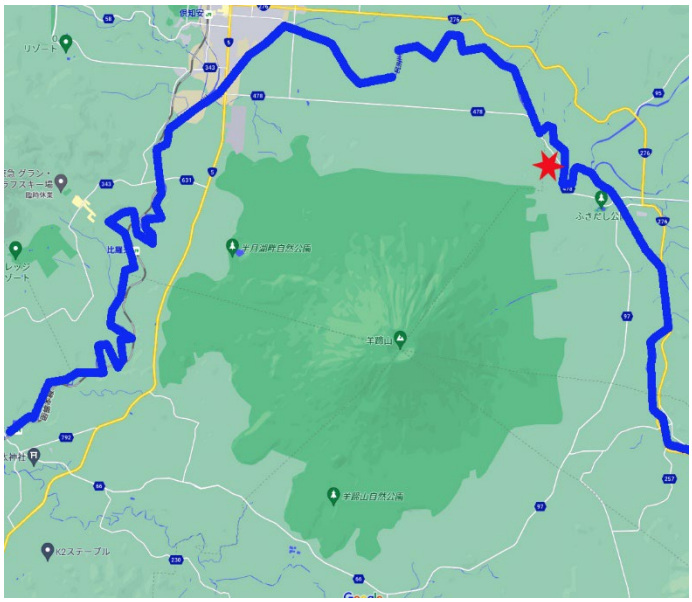
北海道を流れるエネルギー（風水で述べる龍）は、東と西にある二つの祖山（北海道エリア全体のパワー噴出口）から噴出している。一つは北海道の最高峰、大雪山旭岳から、そしてもう一つが羊蹄山から道央の札幌、ニセコ、道南方面に流れる龍脈。今回調査を行った F 物件は、道央のエネルギールート（龍脈）の原点である羊蹄山の北東山麓に位置し、祖山から流出する「龍の氣」が滞留する「龍のお膝元」とも言えるパワーゾーンである。

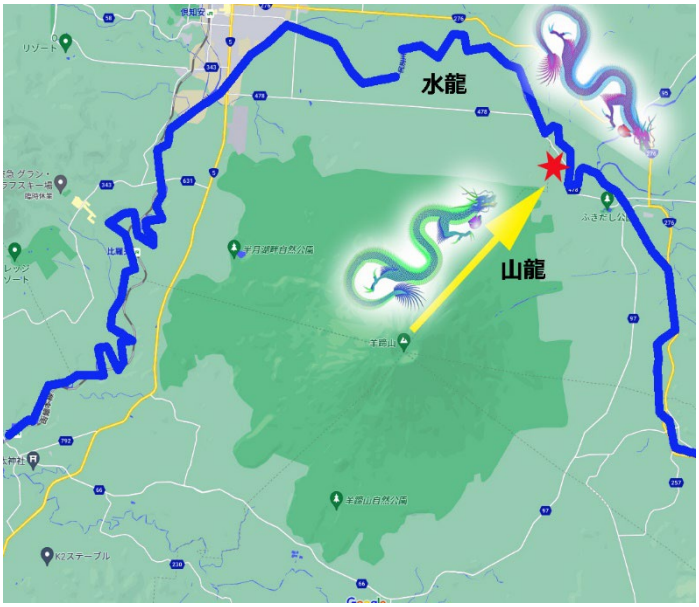
北海道の龍脈ルート

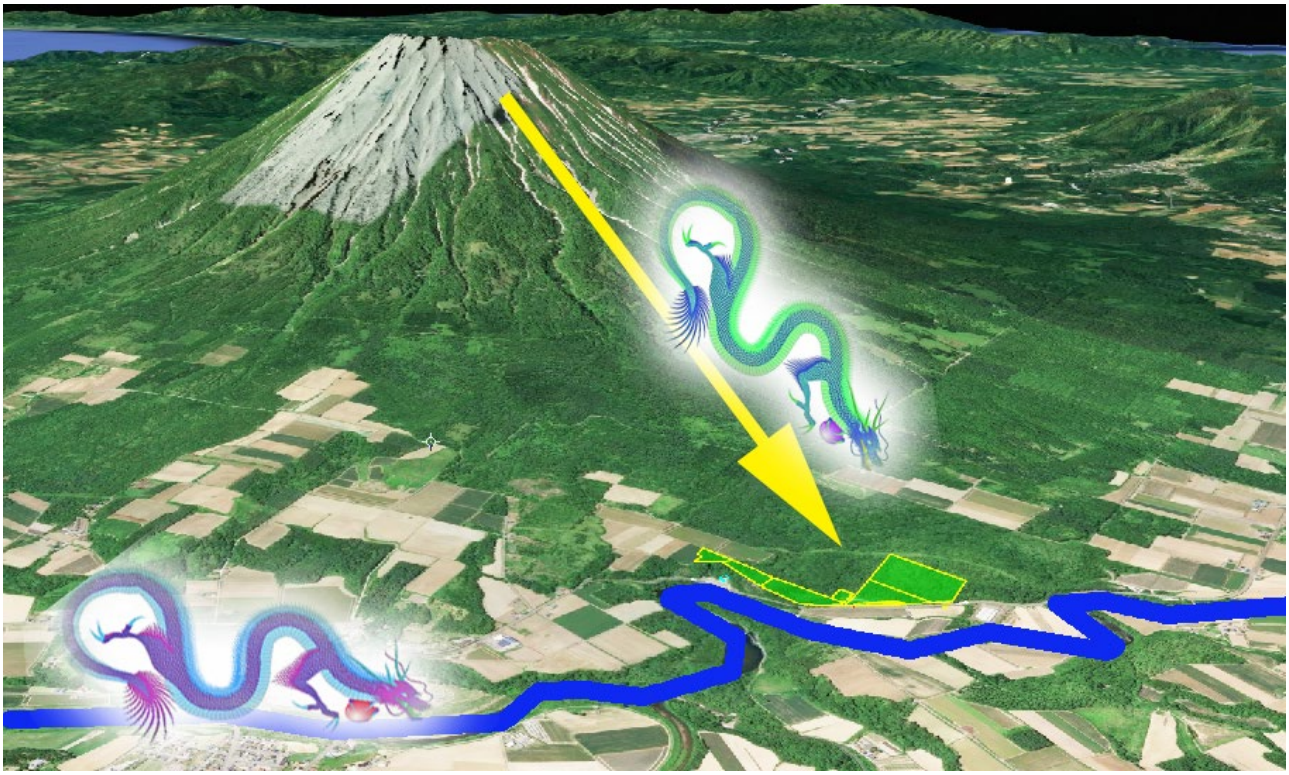
2. 水龍

大地のエネルギーは風で運ばれ、水に留まる（風水の語源）。
水に留まった「氣」は川の流れで運ばれ、「水龍」となるが、この流れの内側にそのパワーをため込む性質を有する。
風水ではこの「水に囲まれた内部」を「玉帯水（ぎょくたいすい）の地」と呼び、「吉相の地」とする。
羊蹄山の北を囲むように蛇行する尻別川はその内部に広大な「玉帯水」を形成しており、この領域全体は「羊蹄山麓の強力な風水エネルギーゾーン」となる。

上記を鑑みるに、調査物件周辺一帯は西の祖山・羊蹄山から発する風水エネルギーを尻別川の水龍がその内に抱くという「相」となり（下図参照）、風水的には非常に優れた場所であると言える

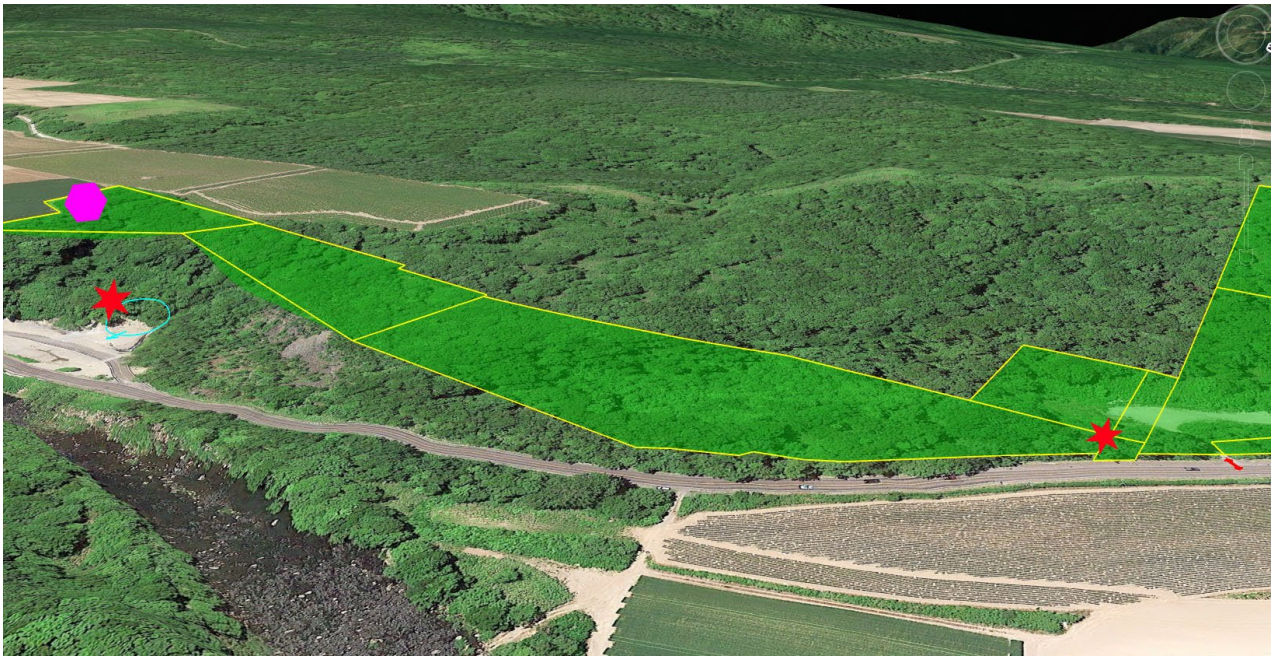






3. 敷地内のパワースポット

敷地内でも特に良いエネルギーの場所、いわゆるパワースポットと思われるのが、実際に水が湧出している「湧水スポット」および敷地出入り口左手にある「池」（赤星マーク）。なお、敷地内に新たな湧水スポットを作る（推定：紫台形マーク付近）ことによりさらに土地全体のパワーを高めることができると判断される。



以上、土地鑑定の結果を報告いたします。

札幌市中央区宮の森３条４丁目６−10　グレースハイツ 102

宮の森風水鑑定所　大谷修一